

# 日本のよいところ悪いところ

URL: <https://youtu.be/430EDNvkWKY>

今回は「日本のよいところ悪いところ」を学びながら、日本語を勉強しましょう。

この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があります。

後半は少しだけ速く（+20%）なり、漢字に「ふりがな」はありません。

学習にお役立てください。

## ■私のことと日本での生活

私の名前はマイケル・スミスです。アメリカ出身で、日本に住んで数年たちますが、毎日新しい発見があります。日本はとても安全で、せいけつな国です。そして、四つのきせつごとにうつくしい自然やおいしい食べ物が楽しめる場所でもあります。特に私は、春のさくらや秋のもみじを見るのが好きです。ただ、日本での生活には少しよくないところもあります。たとえば、仕事では、みんながまじめで、はたらく時間が長いことが多いです。また、人とのつきあいも時々むずかしく感じる場合があります。ですが、こうした面もふくめて、日本をもっと知りたいと思っています。

この動画では、日本のよいところだけでなく、よくないところもお話ししようと思います。日本に来る方や、日本にきょうみがある方にとって、少しでもやくだつないようになればうれしいです。

## ■安心して歩けるまち

日本はとても安全な国です。昼も夜も、安心して外を歩くことができます。外国に住んでいる人には、これがとてもおどろきかもしれません。たとえば、日本では夜でも一人で歩ける場所が多いです。大きなまちでも小さなまちでも、ほとんどの場所で不安を感じずに歩けます。

さらに、日本のまちにはたくさんの自動はんばい機があります。飲み物や食べ物がかが手軽に買え、こわされることもほとんどありません。これは、日本の治安がいいしょうこです。自動はんばい機が安全に使えるということは、日本の安心なかんきょうを表しています。

また、日本ではさいふやスマートフォンをわすれてしまっても、見つかることが多いです。駅や店で物をおとした時、そこにもどると多くの場合、まだそこにあります。また、だれかが交番や店にとどけてくれることもあります。こうしたけいけんをした外国人は、日本のしんせつさと安全さにおどろくことが多いです。

日本の安全なまちには、けいさつのはたらきやちいきの人々のきょうりよくが大きくかんけいしています。日本では、ちいきの人たちが一緒にち安をまもるどりよくをしています。イベントやまつりの時も、ちいきの人々があつまり、ルールをまもって行動します。これによって、安心できるかんきょうが作られています。

こうした安全なかんきょうは、おとずれる外国人にとってもみりよくてきなものです。安心してかんこうや生活ができることは、日本のよいところの一つです。日本に来る人たちにとっても、安心して楽しめる場所が多いのはうれしいことだと思います。

## ■きれいなかんきょうとしゅうかん

日本では、まちや公共の場所がとてもきれいです。ゴミが少なく、道やこうえんもそうじされています。外国から来た人は、日本のきれいさにおどろくことが多いです。多くの人が、ゴミを持ち帰ったり、きちんと分けてすてたりしています。これは、みんながまわりを大切にすゝ気もちがあるからだと思います。

また、日本には「持ち帰り文化」があります。食べ終わったあとや、出たゴミを家まで持ち帰る人が多いです。たとえば、こうえんでピクニックをしたあとも、ほとんどの人が自分でゴミを持って帰ります。このように、自分のゴミをきちんと管理することが、日本ではあたりまえです。

さらに、学校や会社でも、毎日そうじをする時間がとられています。小学生たちは、自分たちで教室やトイレをそうじします。こうしたしゅうかんは、小さいころからきたえられていて、大人になっても続いています。

日本のこうした「きれいにすゝしゅうかん」は、外国人にとってもおどろきとともに、見習いたいと思うことが多いようです。

## ■ 時間にせいかくな交通きかん

日本の交通きかんは、とても時間にせいかくです。電車やバスは、ほぼ予定どおりに動きます。とくに都市部では、朝や夕方方の時間にたくさんの人が電車やバスを使いますが、それでも時間どおりに来ることが多いです。外国から来た人にとって、このせいかくさはとてもおどろきです。

駅には、外国人にも分かりやすいひょうじがされていて、どこに行けばいいかがすぐ分かります。また、駅の中には案内所もあり、分からないことがあれば、聞くことができます。こうしたサービスのおかげで、かんこうきゃくも安心して利用できるようになっていきます。

また、日本では、電車の中でのマナーもとても大切にされています。電車の中では大きな声で話さず、けいたい電話もマナーモードにします。これも、日本の人たちがまわりを大切にすきもちをもっているからです。

ただ、地方に行くと、電車やバスが少なくなることもあります。都市とちがい、電車が1時間に1本しか来ないこともあります。そうした地方と都市のちがいも、日本の交通きかんのとくちょうです。

日本の交通きかんは、こうしてせいかくでべんりなので、外国人にとっても使いやすいものになっています。

## ■ 日本の食文化ときせつの楽しみ

日本には、おいしい食べ物がたくさんあります。そして、四つのきせつごとに、いろいろな料理や食ざいが楽しめるのも日本の食文化のとくちょうです。春、夏、秋、冬、それぞれのきせつにあった料理があるので、外国から来た人もきせつの変化とともに食事を楽しむことができます。

たとえば、春は「さくらもち」や「たけのご飯」など、さくらや春の食ざいを使った料理があります。夏には「すいか」や「そうめん」など、あつい日にぴったりのさっぱりした料理が人気です。秋には「さんま」や「くり」など、秋の味がたのしめます。そして、冬には「あついおでん」や「なべ料理」がよく食べられます。こうしたきせつの料理を食べることで、日本のきせつのうつりかわりを感じられます。

また、すしやラーメン、天ぷらなど、外国人にも人気のある日本の料理もたくさんあります。すしは新鮮な魚を使い、ラーメンはスープやめん味の味がちがうので、いろいろな味を楽しむことができます。

このように、日本では食べ物を通してきせつを感じたり、でんとう的な料理を楽しんだりすることができます。日本の食文化は、外国人にとってもとてもおもしろいものだと思います。

## ■はたらきすぎ？日本のしよく場文化

日本では、仕事をとても大切にすることがあります。多くの人々がまじめで、毎日いっしょうけんめいはたっています。とくに会社員の中には、朝早くから夜おそくまではたらく人も多く、これが日本の「はたらきすぎ」として知られています。外国から来た人には、このはたらき方が少しふしぎに感じられることもあります。

日本の会社では、長い時間はたらくことが当たり前とされることが多いです。たとえば、仕事が終わっても、同じ会社の人たちとご飯を食べに行ったり、飲みに行ったりすることもあります。これは、チームのなかま意しきを高めるためとされていますが、毎日つづくにつかれることもあります。

さらに、日本では、仕事を休むことに対して少しプレッシャーがある場合もあります。病気になっても、休まずに仕事をする人がいることもあります。こうした文化は、外国人にとっては少しつらいと感じられるかもしれません。

しかし、日本人が仕事を大切にすることで、サービスのしつが高くなり、お客さんを大切にすることが生まれています。これが日本のサービスが高くひょうかされる理由の一つです。

日本のしよく場文化には、こうしたむずかしい面もありますが、それも日本を知る一つのポイントです。日本ではたらくことで、外国人も新しい考え方を学べるかもしれません。

## ■人間かんけいのむずかしさとやさしさ

日本には、人と人とのつながりを大切にする文化があります。仕事や学校でも、「和」を大切にして、みんながきょうりよくして生活をしています。日本では時々、「空気を読む」という考え方が重要とされています。これは、言葉にしなくても相手の気持ちをさっすることを意味します。外国人にとって、この「空気を読む」という文化は少しむずかしいかもしれません。

たとえば、日本ではあまりはっきりと自分の意見を言わないことが多いです。相手を気づかって、ちよくせつ的な言い方をさけることがよくあります。こうしたやり方は、相手への思いやりから生まれたものですが、外国から来た人にとっては分かりにくいこともあります。

また、日本では「敬語」という、相手によって使い方がちがう特別な言葉づかいがあります。目上の人には、ていねいな言葉を使うことが多く、これも外国人にとってはなれるまで時間がかかるかもしれません。このようなルールは多いですが、日本人は相手を大切に思う気持ちから、こうした言葉づかいを大切にしています。

ただ、日本人はとてもやさしく、困っている人がいれば助けられることが多いです。たとえば、道に迷った時や、電車の乗り方が分からない時、知らない人でも親切に教えてくれます。このやさしさが、日本人のひとびとのとくちょうの一つです。

こうしたむずかしさとやさしさが、日本人かんけいのとくちょうです。日本で生活する中で、このやさしさにふれることができると、日本をもっと好きになるかもしれません。

## ■さびしくなる地方の町

日本では、都市と地方のちがいがとても大きいです。とくに地方では、人口が少なくなっていて、若い人が都市へ引っこしていきが多いです。そのため、地方の町や村は、年をとった人が多く、少しさびしいふんい気になっています。こうした「かさ化」という問題は、地方の大きな課題となっています。

わか ひと とし で い りゆう しごと すく ちほう かいしゃ  
若い人が都市に出て行く理由には、仕事の少なさがあります。地方では、会社  
やしごと ば すぐ がっこう で ばしょ  
やしごとと場が少なく、学校を出たあともはたらく場所がかぎられています。そ  
のため、仕事を求めて都市に移る若い人がふえています。こうして、地方の人  
こう  
口がますますへっていきます。

ちほう しぜん むかし のこ  
しかし、地方にはうつくしい自然や、昔からのでんとうがたくさん残っていま  
す。たとえば、祭りやとくべつな行事があり、そのちいきならではの文化や食  
べもの おお ちほう とち  
べものも多いです。地方には、その土地のとくちょうを生かしたかんこう地もあり  
がいこくじん ばしょ  
り、外国人にとってもおもしろい場所がたくさんあります。

さいきん ちほう げんき うご とし  
最近では、地方を元気にしようとする動きもふえてきました。たとえば、都市  
から地方に移り住んで、農業や工業を始める人もいます。また、地方のみりよ  
くを海外に伝えようとする取りくみも行われています。こうした動きを通じて、  
すこ ちほう ひと もど きたい  
少しずつ地方に人が戻ってくるのが期待されています。

にほん ちほう とし せいかつ たの  
日本の地方には、都市とはちがう生活のよさや楽しみがあります。おとずれる  
ことで、地方のうつくしさやあたたかい人々の気持ちにふれることができ、日  
ん し おも  
本をもっと知ることができると思います。

## ■日本のみりよくと課題を知る

にほん あんぜん まち じかん  
日本には、たくさんのみりよくがあります。安全でせいけつな町、時間にせい  
かくな交通きかん、おいしい食べ物、うつくしい自然など、外国の人々にとっ  
たの おお にほんじん しんせつ  
ても楽しめるポイントが多いです。また、日本人の親切なところや、みんなが  
きょうりよくして生活するしせいも、日本の大きなみりよくです。

いっぽう にほん すこ かん めん しごと ちよ  
一方で、日本には少しむずかしいと感じる面もあります。たとえば、仕事が長  
うじかん  
時間になりがちであることや、人間かんけいが少しふくぎつなこと、地方で人  
こう  
口がへっていることなどです。こうした課題も、日本を知る上で大切なこと  
す。よいところだけでなく、よくないところも知ること、日本をもっとふか  
りかい おも  
く理解できると思います。

にほん かだい し わたし まな ひろ にほん せい  
日本のよいところと課題を知ることで、私たちの学びも広がります。日本で生  
かつ りよこう なか めん み にほん ほんとう  
活したり、旅行をしたりする中で、こうしたさまざまな面を見て、日本の本当  
のすがたにふれることができます。そして、日本の文化や考え方を知ること、  
がいこくじん あたら はっけん まな  
外国人にとっても新しい発見や学びがあるでしょう。

日本には、まだまだ知るべきことがたくさんあります。よいところも課題もふくめて、日本のリアルなすがたをりかいし、そこから多くのことを学べるといと思います。

## ■日本を楽しもう

日本には、たくさんのよいところと、よくないところがあります。どちらも知ることで、日本をもっと好きになることができます。安全でせいけつな町や、時間にせいかくな交通きかん、おいしい食べ物、そして四つのきせつごとに変わるうつくしい自然など、日本には楽しめることがたくさんあります。

もちろん、日本で生活する中でむずかしいと感じることもあるかもしれませんが。しかし、そうした面もふくめて、日本を知ることは、外国から来た人にとって新しい学びや発見があると思います。日本人のやさしさや、みんなで協力して生活する文化は、世界中の人々にとっても大切なものです。

この動画を通して、日本のよいところやよくないところについて学んでいただけたらうれしいです。これからも日本での生活や旅行を楽しみ、日本のさまざまな面を見つけてください。

日本での時間が、みなさんにとってすばらしいものになりますように。そして、日本でのけいけんが、これからの生活に役立つものになることをねがっています。

「日本のよいところ悪いところ」はいかがでしたか。  
コメント欄から感想をみんなに教えてください。  
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI